

令和7年度 【神河町】 認知症地域支援推進員活動報告

認知症地域支援推進員について

- 1 認知症地域支援推進員：1名
- 2 認知症地域支援推進員の役割
 - ・ 認知症対策検討部会の企画、運営
 - ・ 認知症ケアパスの活用促進
 - ・ 認知症相談センターとしての対応
 - ・ 初期集中支援チーム事業
 - ・ 認知症に対する普及・啓発
 - ・ オレンジカフェ（認知症カフェ）の支援
 - ・ 地域通いの場支援【早期発見のためのスクリーニング含む】

報告者氏名： 日野真美

【神河町】認知症施策全体図

予防・早期発見

介護予防教室

- ・ 認知症予防教室
- ・ 筋力維持向上教室
- ・ 地区巡回健康教室

もの忘れ健診

- ・ タッチパネルで
脳の健康度チェック
- ・ 町ぐるみ健診や
地区巡回で実施

普及・啓発

認知症サポーター養成講座
(小中学校・地域・企業)

アルツハイマーデー・月間
(地域・事業所・CATV)

認知症ケアネット

『知っておきたい認知症あんしんナビ』

地域で見守る体制

高齢者等安心見守り・SOSネットワーク事業

- ・ 協力機関登録44事業所。登録者2名。

安心見守りネットワーク協定事業

- ・ 登録14事業所。

目指すべき姿
① 認知症とオープンに
言えるまち
② 認知症をあたたくく
受け止められるまち



相談

オレンジカフェ (認知症カフェ)
ナースボランティアが月1回活動中

介護者の会

社協、介護事業所が
定期的に関催

認知症初期集中支援チーム
(会議・訪問)

神河町の取組経過

モデル地区事業

【タッチパネル検査】

参加者の役半数(42.9%)が要フォロー者の地区あり
通いの場では黙々と真面目にビデオ体操実施

タッチパネル検査



【取組】

- ①定期的な通いの場(運動中心)でコグニサイズ実施
- ②リハ職等にコグニサイズと評価分析
- ③アンケート調査
- ④目標『笑って帰る』

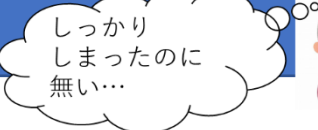
【結果…途中】

- ①タッチパネル検査にて要フォロー率20%に減少(改善4名、維持1名、悪化1名)
- ②前後比較、他地区との比較としてアンケート調査実施中
- ③コグニサイズと茶話会で笑える時間をもっている

本人の望みを叶える事業

【本人の声募集】

認知症検討部会メンバーから募集
「出来ることがある」「畑をしたい」「頼ってほしい」「まだまだ仕事がしたい」



【取組検討】

- ①地域発信…声を周知、子スター掲示、CATV放送
- ②思いの実現…意欲を活動に繋ぎたい→出来ること、活動場所、人の支援

【今後】

- ①「みんなの畑」
- ②「いつでも作品展」
- ③「間違いだらけの喫茶店」出来ることから取組む



• 最後に・・・

認知症を他人事ではなく自分事に、

何もできないというマイナスイメージでなく「頼ってほしい、仕事がしたい」等の出来ることは沢山あるというプラスイメージに変え

本人の自己決定を大事にした取組ができるように

「新しい認知症観」を広めていく活動と

関係者を増やして『神河町の目指すべき姿』実現に向け

当事者、家族、地域住民、生活支援コーディネーター、社会福祉協議会、認知症対策部会メンバー、初期集中支援チーム員、介護事業所、医療機関、地域

包括支援センター、行政、企業などなど

『チームかみかわ』で取組んでいきたい



目指すべき姿
①認知症とオープンに
言えるまち
②認知症をあたたく
受け止められるまち

神河町